



研究者名※	差波 亜紀子 SASHINAMI Akiko	学位※	博士(文学)
所属※	文学部 史学科	職名※	教授
連絡先	sashinamia@fc.jwu.ac.jp		
URL			
researchmap※	<a href="https://researchmap.jp/sashinami">https://researchmap.jp/sashinami</a>		
研究分野※	人文学 / 史学 / 日本史		
研究キーワード※	近現代史、地方史、経済史、教育史		
共同研究・競争的資金等の研究課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蚕糸業における科学技術導入の社会的影響(倉田奨励金:人文・社会科学研究分野・研究分担者、2022年度)</li> <li>・日本資本主義と女性の社会的環境に関する総合的研究-「平塚らいてう資料」のデジタルアーカイブ構築を中心- (日本私立学校振興・共済事業団学術研究振興資金・研究分担者、2022年度)</li> </ul>		
社会貢献・産学官連携活動等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野田市史編さん委員会専門委員(2015年8月~現在)</li> <li>・富岡製糸場女性労働環境等研究委員(2017年8月~2019年3月)</li> </ul>		
受賞歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第15回平塚らいてう賞 特別(2020年)</li> </ul>		

研究領域	日本近現代史、経済史、女性史	(SDGs)
研究テーマ※	近代日本の地域経済に関する研究／女子教育と労働に関する研究	
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	<p>【研究の背景・目的・内容】</p> <p>近代日本の地域経済の動向は、自由貿易の開始と西洋からの科学知識・技術の急速な流入があった19世にはとりわけ、産業に関わる科学知識や技術の獲得と普及のあり方に規定されるところが大きかった。そのため、当時設立された教育機関や卒業生の動向と産業の動向との関連を検討すべく、文字史料や聞き書きなどの分析を行なっている。</p> <p>また女性の場合、昭和戦前期までの日本においては、良妻賢母主義の影響で家庭外での就労と、それに役立つ専門教育への忌避感があったことから、専門知識の獲得にはさまざまな障害があった。そのようななか、あえて専門知識を求めた女性の学習歴・就業意識・社会意識について、校史編纂関係史量等にもとづき分析を行なっている。</p> <p>【応用例、研究の展望】</p> <p>教育機関設立経緯の検討からは、当時の人々がどのように現状を把握し対策を講じたかを具体的に知り得る格好の資料である。地域の問題と対策のあり方を見直すことは、現代の地域問題を考えるうえでの参考となり得る。</p> <p>また社会通念に抗う女性の意識と行動、そして彼女たちに社会進出の足がかりを与えた教育について検討することは、ジェンダーの観点からも意義がある。</p> <p>【研究方法の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刊行物のほか自治体史編纂事業などで収集された史料の利用はもちろん、積極的に新たな史料の発掘を試みている。可能な場合は、関係者への聞き取り調査も行なっている。</li> <li>・教育機関の同窓会資料などを利用することで、著名ではない人々の意識の分析を試みている。</li> </ul>	
本研究関連特許・論文等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「富岡製糸場における「教婦」」『富岡製糸場女性労働環境等研究委員会報告書』富岡市、103-119頁、2020年</li> <li>・「平塚らいてうの結婚観と日本女子大学校の教育」吉良芳恵編著『成瀬仁蔵と日本女子大学校の時代』日本経済評論社、163-194頁、2021年</li> </ul>	
共同研究・外部機関との連携への期待	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> </ul>	